

第334回定例県議会提出

地方独立行政法人奈良県立病院機構中期目標

奈良県

(平成30年11月30日提出)

目次

前文	1
第1 中期目標の期間	1
第2 基本的な考え方	2
第3 目標の設定	
I 患者にとって最適な医療の提供	
1 患者の視点に立った医療サービスの提供	3
2 地域の医療拠点としての機能の充実	4
3 リハビリテーション機能の充実	7
4 医療安全の確保・院内感染の防止	8
5 西和医療センターのあり方の検討	8
II 地域の医療力向上への貢献	
1 地域の医療機関との役割分担と連携強化	9
2 地域の医療機能の向上のための支援	10
3 災害医療体制の強化	10
4 県民への医療・健康情報等の提供	11
III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成	
1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成	12
2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成	12
3 働き方改革の推進	13
IV 自立した法人経営	
1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	15
2 持続可能な経営基盤の確立	15
3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成	17

前 文

地方独立行政法人奈良県立病院機構（以下「病院機構」という。）は、平成26（2014）年4月の設立以来、「“医の心と技”を最高レベルに磨き、県民の健康を生涯にわたって支え続けます。」を基本理念として、総合医療センター、西和医療センター、総合リハビリテーションセンターの3病院と看護専門学校、医療専門職教育研修センターの2教育研修施設を一体的に運営し、高度医療や救急医療など地域住民に必要な医療提供の充実に取り組んでいます。また、持続可能な法人経営の実現を目指して、経営改善に努めています。

平成26（2014）年度から5年間（第1期中期目標期間）、病院機構では、総合医療センター及び西和医療センターの救急搬送受入体制の整備、西和医療センターの産科再開、看護専門学校統合校の開校を順次行うとともに、平成30（2018）年5月には総合医療センターの移転を完了し、北和地域の高度医療拠点として周産期医療、がん医療等の高度医療や救急医療を提供する体制の整備を行うなどして、一定の成果を上げてきました。

一方、法人経営に関しては、地方独立行政法人化後に収支悪化が進み、その後、営業収益の増加と費用の抑制に取り組み一定の収支改善はしてきているものの、繰越欠損金が平成29（2017）年度末時点で109.8億円となっています。このため、更なる収益確保と費用抑制による経営改善の取組とともに、ガバナンスの強化や職員の意識改革について、なお一層の努力が必要となっています。

そこで、平成31（2019）年度から5年間の第2期中期目標では、県は病院機構に対して、「患者によし、地域によし、職員によし」の「三方よし」を実践し、奈良県の医療レベルの向上に貢献することを求めることとしました。また、この達成に向けて、第1期の成果や課題を踏まえつつ奈良県地域医療構想や奈良県医療費適正化計画などとの整合も図りながら、「患者にとって最適な医療の提供」、「地域の医療力向上への貢献」、「最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成」及び「自立した法人経営」の4つの柱立てのもと、具体的な目標を定めました。

病院機構が、職員一丸となって第2期中期目標の達成に向けて取り組み、県内の医療機関との緊密な連携・協力のもと、質の高い医療を継続的に提供し、県民の健康保持に寄与していくことを強く求めます。

第1 中期目標の期間

平成31（2019）年4月1日から平成36（2024）年3月31日までの5年間とする。

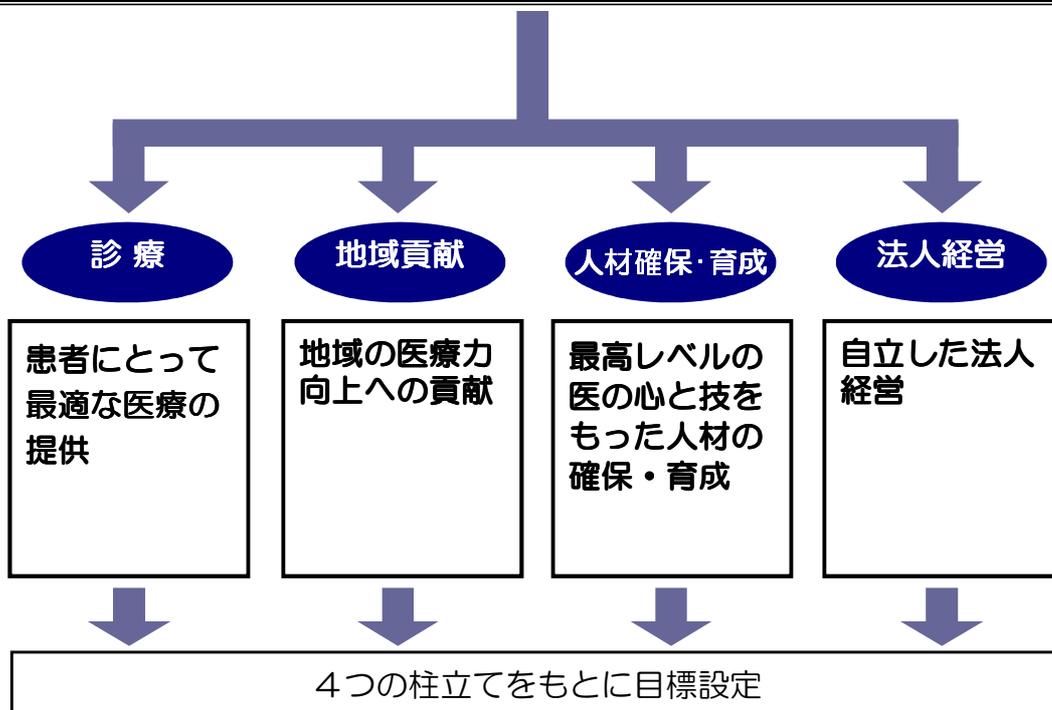
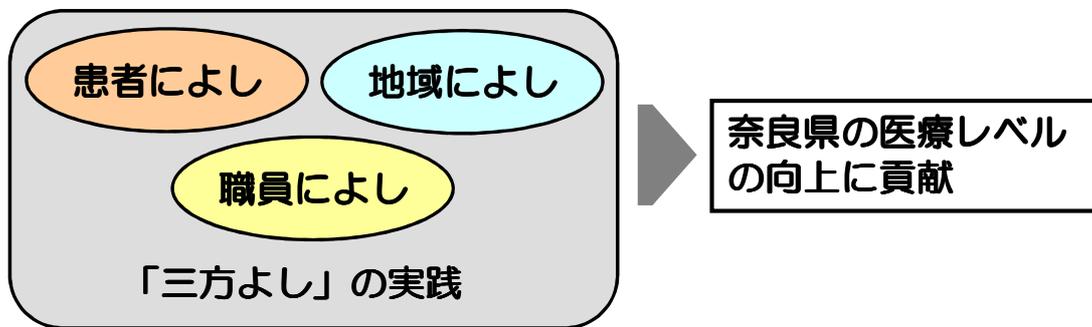
第2 基本的な考え方

本中期目標期間において病院機構に期待することを以下のとおり定め、その実現のために、「診療」「地域貢献」「人材確保・育成」「法人経営」の4つの柱立てのもと具体的な目標を設定し、その達成に向け取り組む。

目標の設定に当たっては、奈良県地域医療構想、奈良県医療費適正化計画など関連する県の計画との整合も図り、それらに資するものとする。

機構に期待すること

「患者」にとって“最適な医療”を提供し、地域の医療機関と連携して「地域」の期待に応え、「職員」を育て働きやすい環境を提供して、奈良県の医療レベルの向上に貢献する。



※次ページ以降の「第3 目標の設定」において、総合医療センターは「総合」、西和医療センターは「西和」、総合リハビリテーションセンターは「リハ」、看護専門学校は「看専」、医療専門職教育研修センターは「研修セ」と表記します。

第3 目標の設定

大項目Ⅰ 患者にとって最適な医療の提供

総合・西和は地域の医療の拠点、リハは奈良県の回復期医療の拠点としてそれぞれの機能を最大限発揮し、また、常に患者サービスの向上に取り組み、患者にとって最適な医療を提供すること。

中項目1 患者の視点に立った医療サービスの提供

3病院は、患者にとって最適な医療の提供のため、入院・外来や診療科などそれぞれの部門に応じ、常に患者の視点に立った医療サービスの向上に取り組むこと。

主要目標

◎患者調査で「満足」と回答した割合（入院・外来別）の向上

2023年度目標

入院・外来とも90%以上

関連目標

○患者サービス向上委員会で検討し改善した件数の増加

第2期目標期間

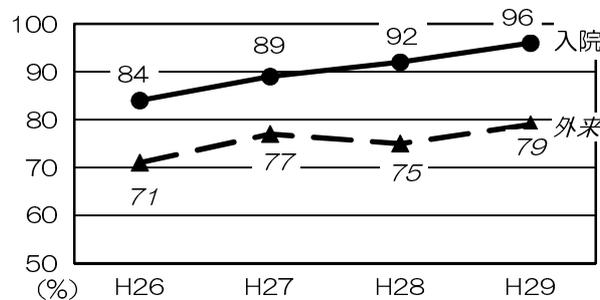
前年度より増加

○患者調査で診療の待ち時間について「不満」と回答した割合の改善（低下）

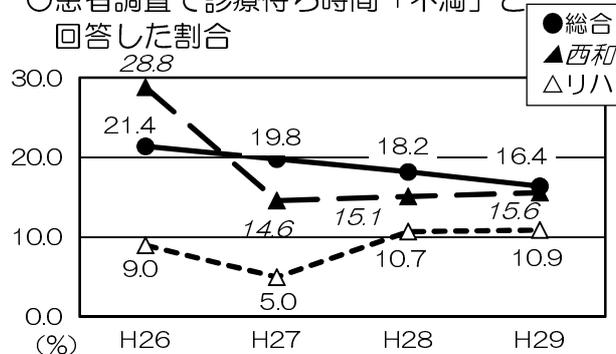
前年度より低下

現状

◎患者調査「満足」と回答した割合



○患者調査で診療待ち時間「不満」と回答した割合



中項目2 地域の医療拠点としての機能の充実

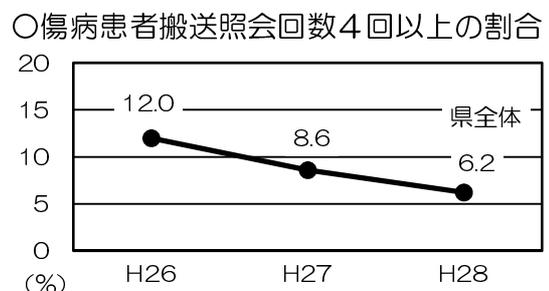
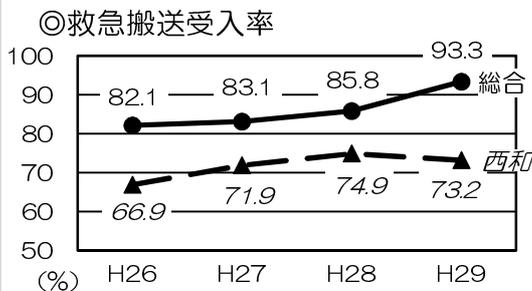
総合は北和地域、西和は西和地域における医療拠点として、「断らない救急医療」を充実すること。また、がん医療など高度・先進医療と、小児や周産期、精神、感染症、糖尿病医療など特殊部門等の医療を充実すること。

① 断らない救急医療の充実

主要目標	2023年度目標
◎救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】	100%達成を目指す

関連目標	2023年度目標
○北和・西和地域における重症以上の傷病患者搬送事案において、医療機関の受入の照会を行った回数4回以上の割合の改善（低下）【総合・西和】	2.7%

現状

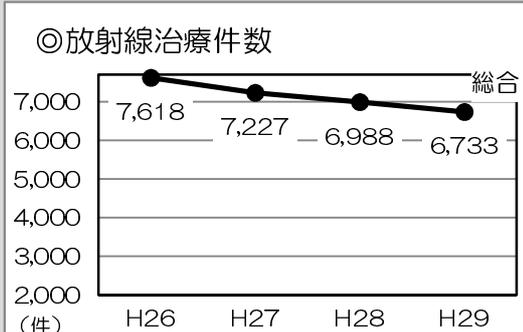
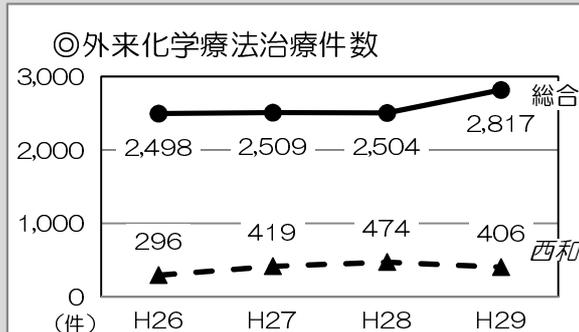


② 質の高いがん医療の提供

主要目標	2023年度目標
◎院内がん治療件数の増加（悪性新生物手術・外来化学療法【総合・西和】、放射線治療【総合】）	悪性新生物手術 1,600件 外来化学療法 3,800件 放射線治療 8,000件

関連目標	第2期目標期間
○がん医療における高難度（E・D難度）手術の実施件数の増加【総合】	前年度より増加

現状



③ 周産期医療の充実

主要目標

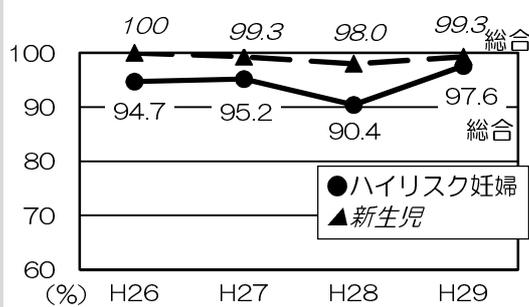
◎ハイリスク妊婦の県内搬送率100%達成を目指す【総合】	2023年度目標 100%達成を目指す
◎新生児の県内搬送率100%達成を目指す【総合】	100%達成を目指す

関連目標

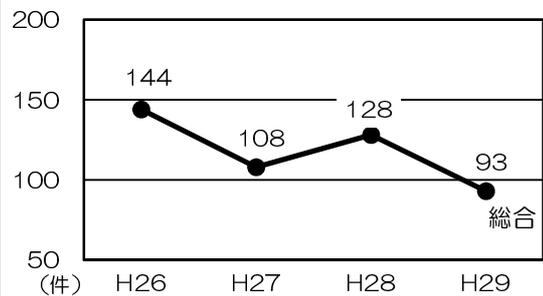
○ハイリスク分娩件数の増加【総合】	第2期目標期間 前年度より増加
-------------------	--------------------

現状

◎ハイリスク妊婦、新生児の県内搬送率



○ハイリスク分娩件数



④ 小児医療の充実

主要目標

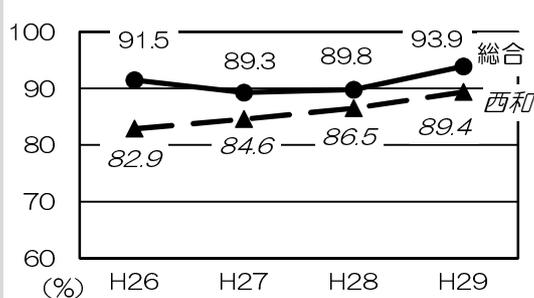
◎小児患者の救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】	2023年度目標 100%達成を目指す
--------------------------------	------------------------

関連目標

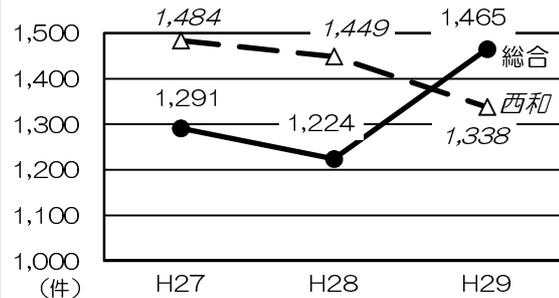
○小児救急受入件数の増加【総合・西和】	第2期目標期間 前年度より増加
---------------------	--------------------

現状

◎小児患者の救急搬送受入率



○小児救急受入件数



⑤ 糖尿病医療の充実

主要目標

第2期目標期間

◎糖尿病医療に係る非専門医からの紹介件数の増加【総合・西和】

前年度より増加

関連目標

第2期目標期間

○糖尿病専門医の確保【総合・西和】

総合 2人以上
西和 1人以上

○糖尿病専門医による治療患者数の増加【総合・西和】

前年度より増加

現状

糖尿病専門医と糖尿病患者数

		専門医数（人）	患者数（人）	専門医1人あたりの患者数（人）
H20年調査	全国	4,117	2,371,000	576
	奈良県	23	22,000	957
H26年調査	全国	5,510	3,166,000	575
	奈良県	37	33,000	892

出典：奈良県保健医療計画(平成30年3月)

⑥ 精神医療の充実

主要目標

第2期目標期間

◎精神・身体合併症患者受入件数の増加【総合】

年間30件以上

関連目標

第2期目標期間

○精神科救急受入件数の増加【総合】

年間16件以上

現状

精神科救急医療 輪番8病院における休日・夜間の実績

	受診件数（件）	入院件数（件）
H26年度	485	157
H27年度	519	249
H28年度	551	303

出典：奈良県保健医療計画(平成30年3月)

⑦ 感染症医療の充実

主要目標

2023年度目標

◎感染症患者入院要請応需率100%の維持【総合】

100%

関連目標

第2期目標期間

○緊急対応を常時想定した体制の強化【総合】

体制の強化

現状

感染症指定医療機関(H30年5月)

種別	医療機関名	指定病床数(床)	担当する医療圏
第一種	奈良県立医科大学附属病院	2	全域
	奈良県立医科大学附属病院	7	中和・西和
第二種	奈良県総合医療センター	6	奈良
	済生会中和病院	4	東和
	南奈良総合医療センター	4	南和
	市立奈良病院	1	奈良

出典：奈良県保健医療計画（H30年3月）に総合医療センター（H30年5月）を追加

中項目3 リハビリテーション機能の充実

リハは、奈良県の回復期医療の基幹病院としてその機能を充実すること。また、総合・西和は、急性期におけるリハビリテーション機能を充実すること。

主要目標

第2期目標期間

◎急性期リハビリテーション実施件数の増加【総合・西和】

前年度より増加

◎機能的自立度評価法による得点の上昇（入院前後におけるADLの改善）【リハ】

前年度より上昇

関連目標

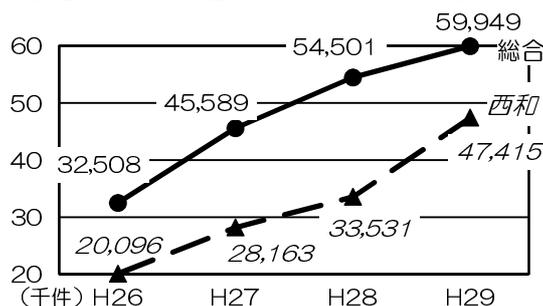
第2期目標期間

○在宅復帰率の高水準の維持・向上【総合・西和・リハ】

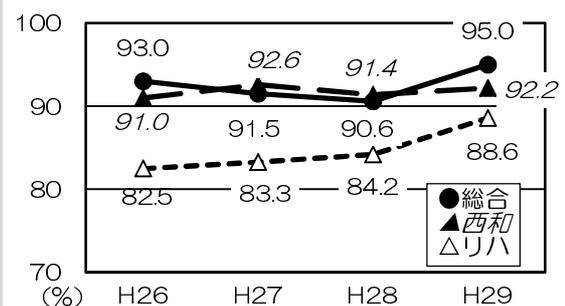
前年度より向上

現状

◎急性期リハビリテーション実施件数



○在宅復帰率



中項目4 医療安全の確保・院内感染の防止

3病院は、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全の確保及び院内感染防止のための対策を徹底すること。

主要目標

◎患者調査で「安心して医療を受けられた」と回答した割合（入院・外来別）の向上

2023年度目標

入院・外来とも90%以上

関連目標

○医療安全確保のための体制強化と職員の意識向上

体制強化と意識向上

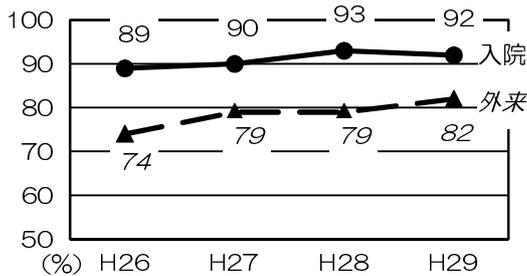
○院内感染防止のための体制強化と職員の意識向上

○入院患者のMRSA感染率の低下

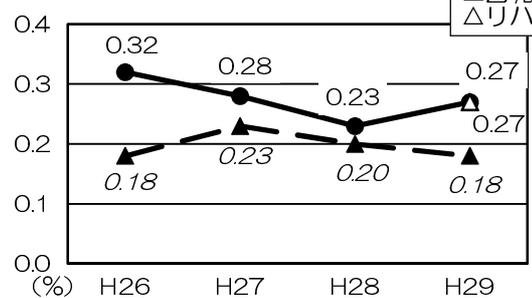
前年度より低下

現状

◎患者調査「安心して医療を受けられた」と回答した割合



○入院患者のMRSA感染率



中項目5 西和医療センターのあり方の検討

他の医療機関との連携・役割分担など、将来に向けた西和医療センターのあり方の検討について、県と病院機構が連携して進めること。

主要目標

◎県と病院機構が連携して西和医療センターのあり方を検討

関連目標

○西和医療センターと総合・リハ・他の医療機関との連携・役割分担の推進

現状

- ・高齢化や人口減少が進む中、病院機構内の3病院間や他の医療機関との連携・役割分担を進めていくことが必要。
- ・西和の前身である旧県立三室病院は、昭和54年の開設以来、約40年経過。

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

3病院は、地域の医療機関との役割分担と連携強化を進め、地域の医療機能向上に貢献するとともに、災害医療体制の強化を図ること。また、県民への医療・健康情報等の提供を積極的に行うこと。

中項目1 地域の医療機関との役割分担と連携強化

総合は北和地域、西和は西和地域における医療拠点として、奈良県地域医療構想に基づいて他の医療機関との役割分担・連携強化を進めること。

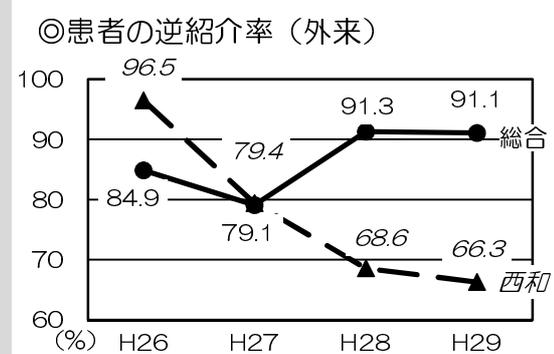
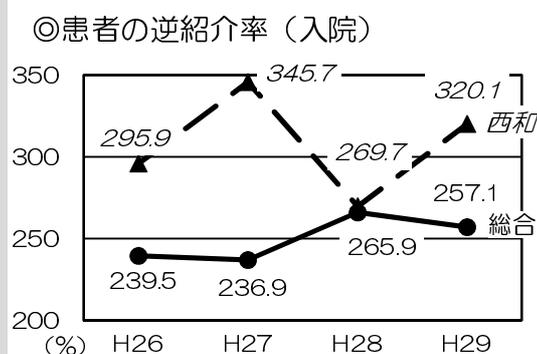
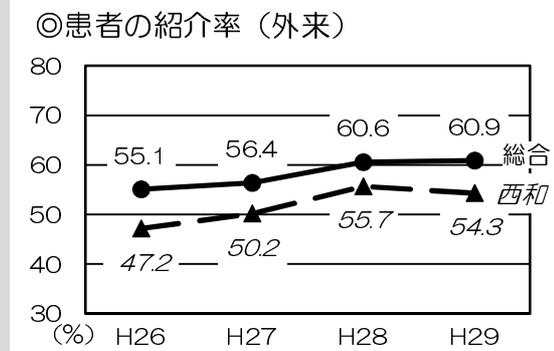
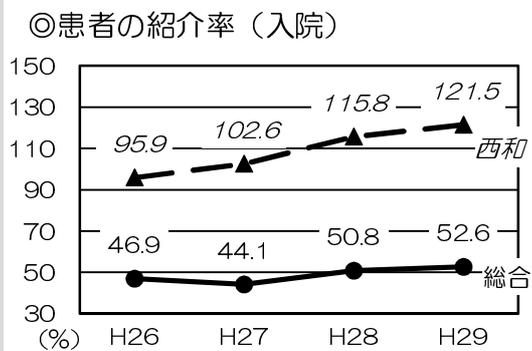
主要目標

	第2期目標期間
◎患者の紹介率（入院・外来別）の向上	前年度より増加
◎患者の逆紹介率（入院・外来別）の向上	前年度より増加

関連目標

	第2期目標期間
○紹介患者数（入院・外来別）の増加	前年度より増加
○逆紹介患者数（入院・外来別）の増加	前年度より増加
○平均在院日数（一般病床）の短縮【総合・西和】	前年度より短縮
○地域医療連携のための会議の参加回数の増加	前年度より増加

現状

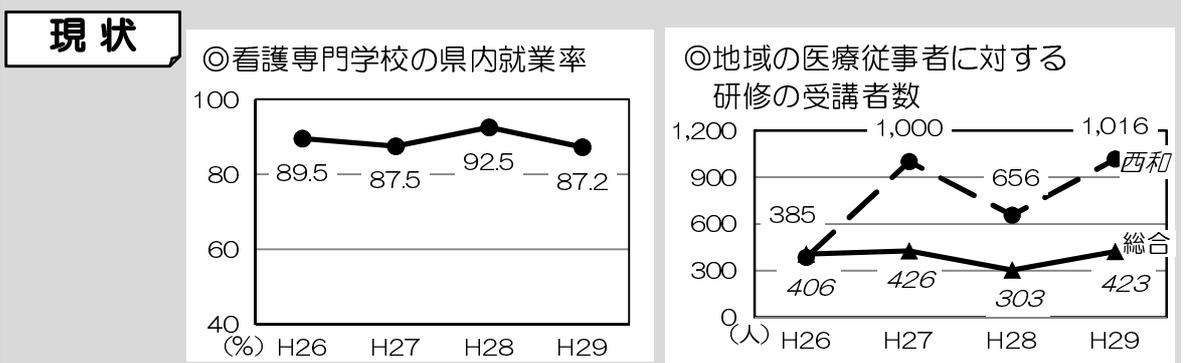


中項目2 地域の医療機能の向上のための支援

研修セは、地域の医療従事者の資質向上のための取組を充実し、総合・西和・リハにおいても地域の医療従事者との連携や支援の取組を充実すること。また、看専は卒業生の県内就業を促進すること。

主要目標	第2期目標期間
◎教育研修センターにおける地域の医療従事者の資質向上のための取組の充実【研修セ】	資質向上の取組の充実
◎地域の医療従事者に対する研修の受講者数の増加【総合・西和・リハ】	前年度より増加
	2023年度目標
◎看護専門学校卒業生の県内就業率100%達成を目指す【看専】	100%達成を目指す

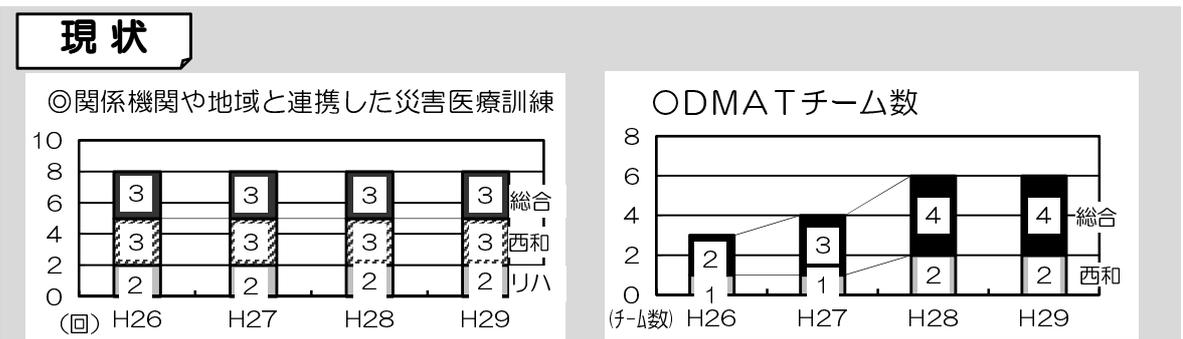
関連目標	第2期目標期間
○医療従事者の短期・長期研修の受入数の増加	前年度より増加
○地域の医療従事者に対する研修の実施回数の増加	前年度より増加



中項目3 災害医療体制の強化

総合は北和地域における地域災害拠点病院として、また、西和・リハにおいても各地域の地域災害拠点病院等と連携して、災害発生時に迅速・的確に対応できるように、それぞれ災害医療体制を強化すること。

主要目標	2023年度目標
◎関係機関や地域と連携した災害医療訓練の実施	年間9回
関連目標	2023年度目標
○ODMATチーム数の増加【総合・西和】	総合 6チーム以上 西和 3チーム以上



中項目4 県民への医療・健康情報等の提供

3病院の医療内容や県民の健康の保持増進に資する情報などを、県民に積極的に発信すること。

また、3病院の医療機能を積極的に広報するとともに、経営状況や臨床指標など法人運営の状況の「見える化」を推進すること。

主要目標

◎公開講座受講者者調査で「有意義だった」と回答した割合の向上【総合・西和・リハ】

2023年度目標

90%以上

関連目標

○県民向け公開講座の受講者数の増加【総合・西和・リハ】

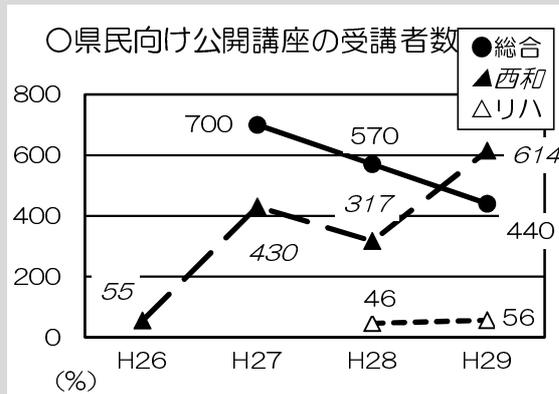
第2期目標期間

前年度より増加

○経営状況や臨床指標、各病院の医療機能などの「見える化」の推進

積極的な広報

現状



大項目Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

患者にとって最適な医療を提供するため、最高レベルの医の心と技をもった人材を確保・育成すること。また、職員が仕事にやりがいを持てる、働きやすい環境づくりを推進すること。

中項目1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成

患者に寄り添い、患者の気持ちを理解できる人材を確保・育成すること。

主要目標

◎患者調査で「患者の気持ちを理解しよう」と対応した割合（入院・外来別）100%達成を目指す

2023年度目標

100%達成を目指す

関連目標

○ホスピタリティ研修の参加人数の増加

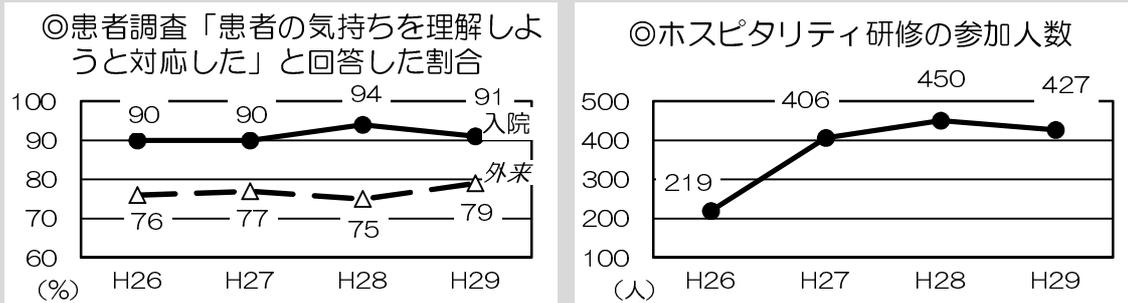
第2期目標期間

前年度より増加

○ホスピタリティ研修後受講者アンケートで「自身のホスピタリティ向上に役立った」と回答した割合の向上

前年度より向上

現状



中項目2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成

県民の期待に応える優れた医療技術をもった人材を確保・育成すること。

主要目標

◎専門医数の増加

2023年度目標

150人

◎専門（又は認定）看護師数の増加

第2期目標期間

前年度より増加

◎看護専門学校現役卒業生の看護師国家試験合格率100%の維持

100%

関連目標

○初期臨床研修医マッチ率の向上

2023年度目標

90%以上

○専攻医数の維持

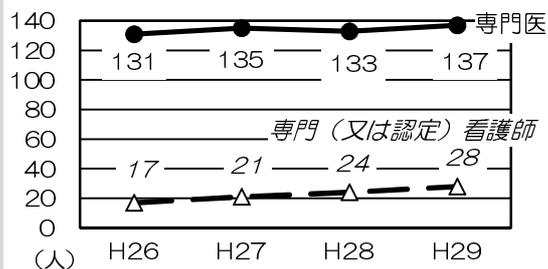
30人

○特定行為研修受講者数の増加

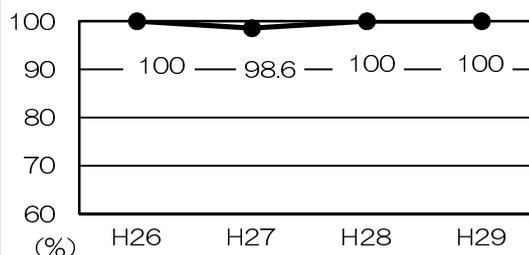
5人以上

現状

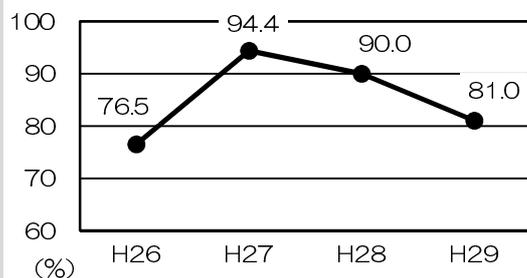
◎専門医数・専門(又は認定)看護師数



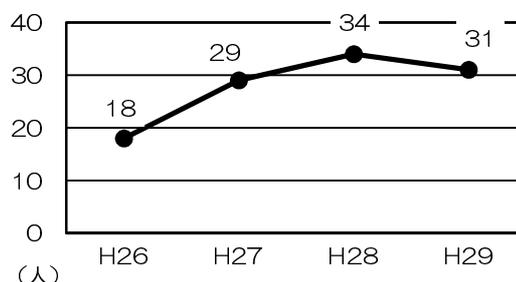
◎看護専門学校現役卒業生の看護師国家試験合格率



○初期臨床研修医マッチ率



○専攻医数



中項目3 働き方改革の推進

職員一人ひとりが仕事にやりがいを持てる、ワークライフバランスにも配慮した働きやすい環境づくりを推進すること。

主要目標

	2023年度目標
◎職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合の向上	90%以上
◎障害者雇用率の向上	2.7%以上

関連目標

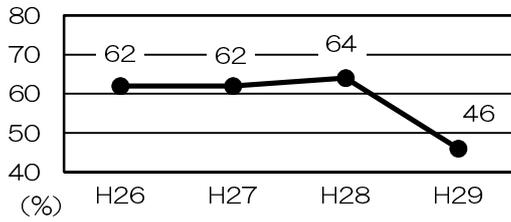
	2023年度目標
○職員調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した割合の向上	90%以上
○男性の育児休業取得率の向上	13%以上
○年次有給休暇取得日数の増加	10日以上(/年・人)
○復職支援実習の参加人数の増加	10人以上(/年)
○看護師在職率の維持	離職率9.1%以下

第2期目標期間

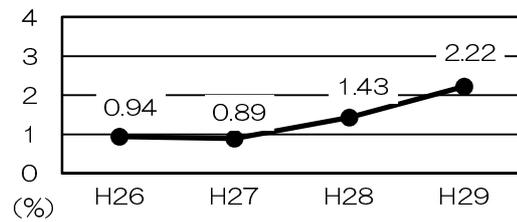
○超過勤務の縮減	前年度より縮減
----------	---------

現状

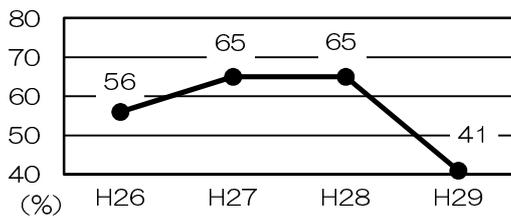
◎職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合



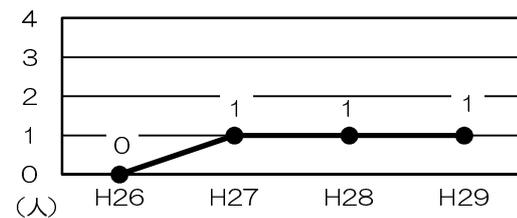
◎障害者雇用率



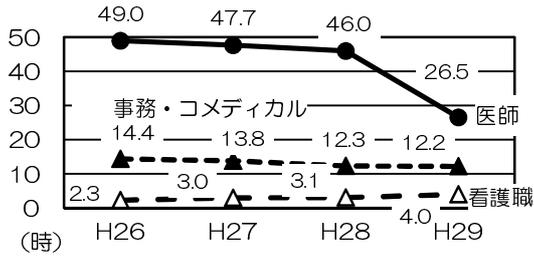
○職員調査で「ワークバランスが図れている」と回答した割合



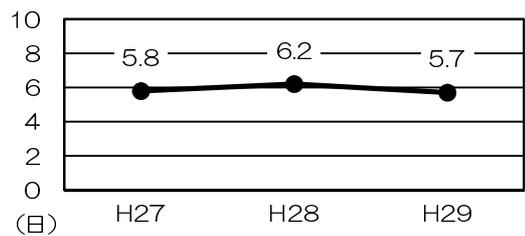
○男性の育児休業取得者数



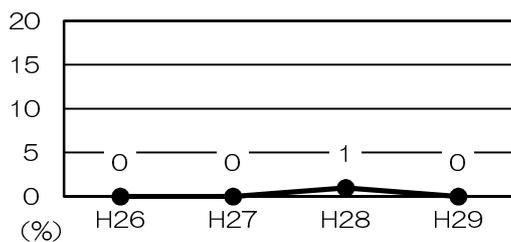
○一人当たり月平均超過勤務時間数



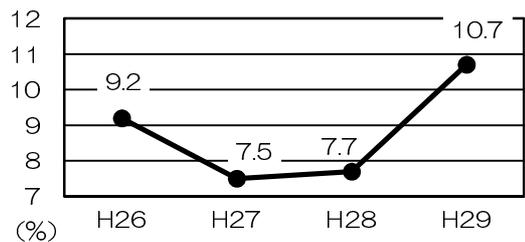
○年次有給休暇取得日数



○復職支援実習の参加人数



○看護師の離職率



大項目Ⅳ 自立した法人経営

持続可能で自立した法人経営の実現のため、病院機構のガバナンス体制を確立し、より一層経営改善に取り組み、また、経営感覚・改革意欲に富んだ人材を育成・確保すること。

中項目1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立

法人経営に対する権限と責任を明確にしたガバナンス体制を確立し、職員一丸となって第2期中期目標・中期計画の達成を図ること。

主要目標

◎第2期中期目標に掲げる目標の達成

2023年度目標

目標達成

関連目標

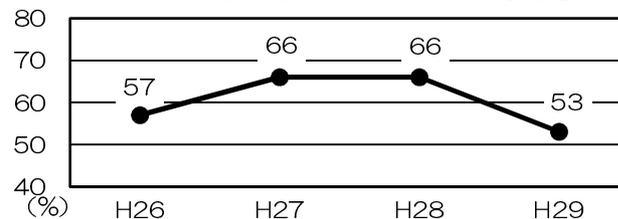
○職員の中期目標・中期計画の理解度100%を目指す

2023年度目標

100%を目指す

現状

○職員調査「中期目標・中期計画の理解度」



中項目2 持続可能な経営基盤の確立

奈良県地域医療構想・奈良県医療費適正化計画との整合のもと、収益の確保と費用構造改革の徹底によって一層の経営改善を図り、持続可能な経営基盤の確立を図ること。

① 財務内容の改善

主要目標

◎経常収支比率の改善（上昇）

第2期目標期間

前年度より上昇

関連目標

○繰越欠損金の縮減

2023年度目標

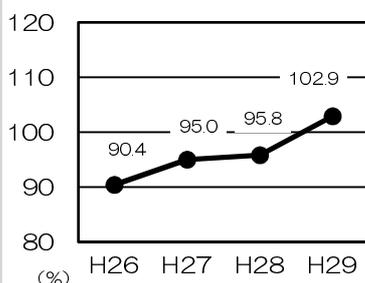
2017年度末額より縮減

○医業収支比率の改善（上昇）

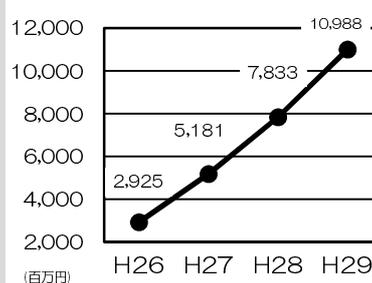
前年度より上昇

現状

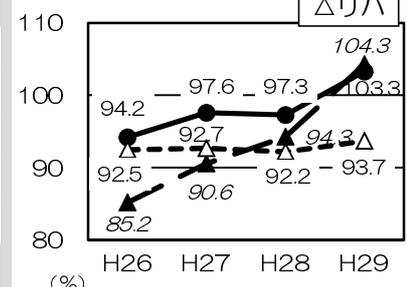
◎経常収支比率



○繰越欠損金



○医業収支比率



② 収益の確保と費用構造改革の徹底

主要目標

◎医薬収益に対する材料費比率の改善（低下）	第2期目標期間 前年度より低下
-----------------------	--------------------

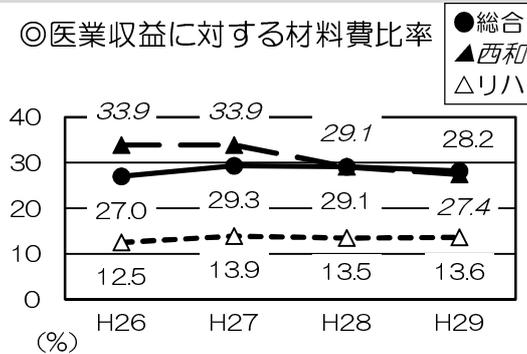
関連目標

○医薬収益に対する職員給与費比率の改善（低下）	第2期目標期間 前年度より低下
○医薬収益に対する経費比率の改善（低下）	前年度より低下

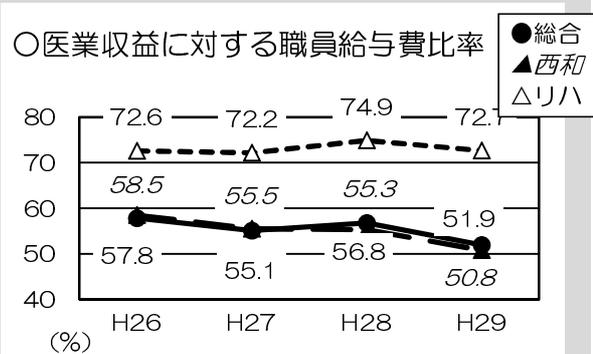
	2023年度目標
○後発医薬品の使用割合の高水準の維持	94%以上
○地域の医療機関との連携を図りつつ、経営状況に応じて計画的に稼働病床を増加【総合】	540床

現状

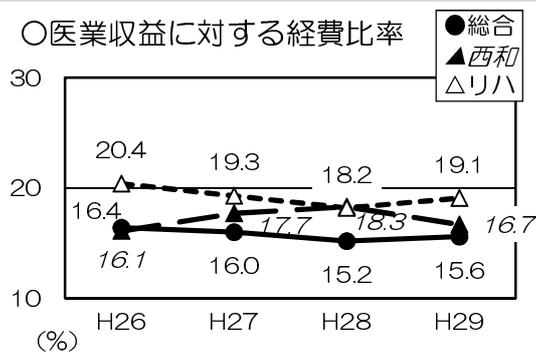
◎医薬収益に対する材料費比率



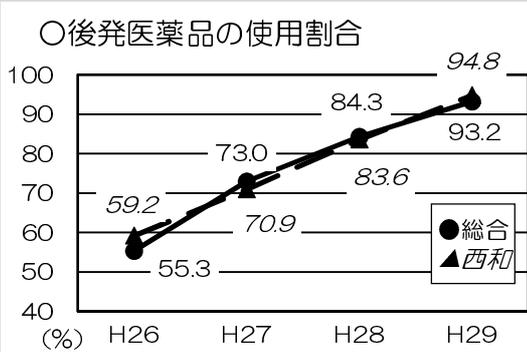
○医薬収益に対する職員給与費比率



○医薬収益に対する経費比率



○後発医薬品の使用割合



中項目3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成

持続可能で自立した法人経営を目指して経営感覚と改革意欲に富んだ人材を確保・育成すること。

主要目標

第2期目標期間

◎事務部門におけるプロパー職員の割合の向上

前年度より向上

関連目標

第2期目標期間

○経営改善・業務改善に向けた職員提案件数の増加

前年度より増加

現状

◎事務部門におけるプロパー職員の割合

